

曾於市 Soo CITY 話題の広場 Topics

みんなの水辺サポート



7月30日、末吉の森田橋から浜田橋（マインドロード）までの間の河川敷を新町自治会と末吉の建設業協同組合の皆さんが、ボランティアで草払い等の清掃を行いました。

当日は、夏らしくうだるような暑さの中、新町自治会や同組合から総勢約70人が参加して、持ち寄った草刈り機などで手際よく草払いやゴミ拾いなどが行われました。作業終了後は、見違えるようなすっきりとした河川敷によみがえっていました。

同組合副会長の有川順一郎さんは「地元への恩返しと思い、地域貢献活動や河川愛護活動の一環として取り組みました。ここは曾於市の玄関口、来て頂いた方に気持ちよくなって欲しい。今後もこの活動を続けていきたい」と話されました。

みんなみんなありがとう ラジオ収録



7月16日、曾於市大隅南小学校でMBCラジオで月曜日から金曜日のお昼（10：00～12：50）に放送中のワイド番組『たんぽぽ倶楽部』の中の1つのコーナーとして、月～金曜日の12時18分頃放送している「みんなみんなにありがとう」の取材がありました。

放送内容としては、まず子どもたちに家族に関する内容で400字程度の作文を読んでもらったものをスタジオから放送し、その後、保護者の方とスタジオを電話でつないで作文に関する感想などを聞くといったものです。

3年生の萩元渚さんは、「自分の作文を読むことは、緊張しました。私は父について作文を書きましたが、みんなに父の事を知ってもらいたいと思い、作文を読みました。これからも、作文を通して自分の考えや意見を書いて、発表したい。」と感想を話してくれました。

なお、放送日は9月27日（月）から数日行われる予定です。ぜひお楽しみに。

本番さながらの訓練 万が一の為に



7月15日、大隅文化会館で北部消防署特殊災害対処訓練が実施されました。

この訓練は、特殊災害への対応能力の向上を図るとともに、各隊が合同で訓練を実施することにより、実災害発生時における連絡調整・情報の共有・任務分担等の再確認を行い、組織的な活動要領を確立することを目的に実施されたものです。

当日は、大隅文化会館において公開講座開催中、ロビーに持ち込まれた不審物から異臭が発生し、多数の人が同時に息苦しさ及び頭痛吐気を訴え避難している。またロビーに数名の者が倒れているという想定で訓練しました。

本番さながらの訓練活動に少し恐怖を感じる場面もありましたが、真剣さが伝わり最後にはとても安心できました。

今後とも訓練に磨きをかけ市民の万が一の時に冷静に対応できます事を望みます。

おいしい焼酎を作り続けてください



7月27日、中谷地区豪雨災害で酒米「白玉」がほぼ全滅したことを受け、全国の酒販店や愛飲家から義援金60万円が贈られる贈呈式がありました。

この義援金は、「日本侍士の会」事務局で財部にお住いの前畑浩一さんが7月上旬に全国の取扱店に呼びかけたもので、中には店内に募金箱を設置し、募金とともに励ましの言葉をつづった手紙も数通同封していたそうです。

贈呈式は、白玉復活栽培保存会（現在会員10農家）の集会所である「びっきょ亭」であり、この場所で焼酎を囲みながら地域の未来や村づくりについて喧々諤々語られているそうです。

この会の会長で義援金を受けとられた下川幸春さんは「まさかこんな災害に自分達が遭うとは夢にも思わなかった。人の優しさを改めて感じました。私達は、美味しい焼酎の基となる立派な米を作ることによって恩返しをしていきたい」と話されました。

仲間のために力を尽くそう



7月29日、曾於市PTA連絡協議会の東久雄会長、谷村安幸副会長、白田俊幸事務局長が市長室を訪問し、甚大な被害に見舞われた財部町中谷地区や小学校復興の一助にと10万円の寄附をされました。

この寄附は、先に行われた市PTA運営委員会の席で全会一致で決議されたもので、東会長は「同じ市内の学校の仲間が苦しんでいるのに何もしないわけにはいかない。被害に遭った方々や子供達に元気を取り戻してもらう為に使ってください。」とおっしゃいました。

市長は「一日も早い財部地区の復興の為に大切に使用させていただきます。今後とも健全で明るい笑顔一杯の子供達を守り育てていくために是非頑張ってください」と感謝の言葉を述べました。

オリンピックを目指します



8月2日、末吉町南之郷中園出身で、現在専修大学1年生の竹田展大さんが市長室を訪問し、先に開催されたアジア及び世界ジュニアレスリング選手権で銅メダルと8位になったという報告と今後の決意を述べました。

竹田さんは、中学校までは南之郷中の柔道部に在籍していましたが、中学校卒業と同時に、レスリングをする為に親元を離れ福岡県の三井高校で毎日練習に励んできました。今春専修大学に合格し、厳しい練習に耐え抜き20歳以下の日本代表に選ばれました。祖父の竹田實雄さんにきくと柔道からレスリングへの転身は突然でなく小さい頃から「お爺ちゃん、僕はレスリングでオリンピックに行くからずっと元気でいてね」と言ってくれていたそうです。

竹田さんに話を聞くと「やはり海外の選手は手も大きく力も強くて厳しい試合でした。この教訓を生かしてもっともっと練習し、世界に通用する選手になりたいです。まずは全国学生選手権に勝つことが今の目標です」と力強く答えてくれました。

伝統を守っていききたい



末吉中柔道部全国大会出場

8月4日、先に行われた中体連柔道大会でみごと30年ぶりに男子団体優勝した末吉中学校の皆さんが市長室を訪問し、その報告と全国大会への決意を述べました。

個人でも3年の富永健斗君が1位、2年の中西将太君が2位、3年の山下晃治君が3位、3年の大窪誠聖君が2位、女子の部では1年の幸田奈々さんが1位とかつて無いほどの素晴らしい成績でした。富永君と幸田さんは、九州・全国大会に、大窪君は九州大会にそれぞれ出場するそうです。

主将の山下晃治君は、「僕達を教えてくださいっている先生方が現役時代成し遂げた全国大会出場を決めることができるとてもうれしい。今年はチャンスだと言われていたので、厳しい練習にも耐えることが出来ました。全国大会は、先生方や周囲の皆さんの為にも今まで習ってきた事を全て出しきって上位入賞をつかみたい」と力強く話してくれました。

ライバルのためにも上位入賞を 大隅中剣道部全国大会出場



8月4日、先に行われた中体連剣道大会でみごと男子団体優勝した大隅中剣道部と3位になったソフトボール部の皆さんが、市長室を訪問し、その報告とそれぞれ全国大会への決意を述べました。

県大会では、ライバル校である末吉中学校との決勝だったようで、地区大会で負けていたので優勝した事が本当にうれしかったようです。

主将の徳留颯哉君は「末吉中はいつも意識していました。ライバル校が同市である事は少し複雑ですが、だからこそお互い切磋琢磨して厳しい練習にも耐える事ができました。全国大会では末吉中の方まで頑張って上位入賞、ベスト8を目指します」と力強く話してくれました。

その他の3年の山口こはるさんは、体操競技で女子個人優勝という快挙も達成し九州大会へ出場するそうです。

全国大会出場を決めた剣道部

全国大会出場を決めたソフトボール部



(株)コレエダ (代表: 是枝登氏) 100,000円



末吉経友会 300,000円



曾於市末吉ゆず同好会 100,000円



(株)大隅衛生曾於 500,000円



(株)アヤベ (本社: 大阪府) 300,000円

口蹄疫 安全宣言



鹿児島やごろう会 166,000円

4月に発生しました口蹄疫の蔓延も終息し、宮崎県では、家畜の移動制限を解除し非常事態宣言全面解除という運びとなりました。

曾於市内でも8月4日まで続けられていた防疫対策の為の消毒散布も解除され、一定の終息を向かえています。

ただ宮崎県では糞尿などにウイルスが残存している可能性がある為順調にいても正式な「安全宣言」は8月27日になる見込みだということです。(8月6日現在)

曾於市内でも今回の事を教訓として常に防疫意識を持ち、有事の際のマニュアルを確立させていく必要があると考えます。

とにもかくにも曾於市では沢山の方々の善意の寄附とご協力により、脅威のウイルスを入り込ませなかった事は一定の評価に値するのではないかと考えます。

ここでは先月号で紹介できなかった分で7月後半から8月12日までに市長室を訪問し、義援金を頂いた方をご紹介します。

口蹄疫発生防疫対策に引き続き市民全員でとりくもう

がんばろう! そお

牛さん ぶたさん 病気にならずに頑張ってね



大隅町月野の国道269号線沿いに、月野小学校全児童65名の児童が協力して、「牛さん ぶたさん 病気にならずに がんばってね」と書いた看板の製作と設置をしました。

この看板は地元業者が材料を提供し、4～6年生が文言や絵を描き、1～3年生が牧草に見立てた緑色の手形を押ししました。隣には7月末に再開されたせり市を喜ぶ看板も添えられています。

5年生の東陸斗君に話を聞くと「ときどきお爺ちゃんの手伝いで牛の餌やりをするけど、白い石灰を撒いたりするのが大変そうだったので、牛さん達の病気が治って本当に良かったです。看板を作るのは大変だったけど沢山の人が見て声をかけてくれてとてもうれしかったです。」と晴れ晴れしい笑顔で話してくれました。

懐かしい歌声に感動



7月28日、曾於市末吉総合センター大ホールで歌手の杉山清貴さん、沢田知可子さん、中西保志さんがジョイントのフレンズコンサートインそおが開催されました。

当日は、14、15歳の方から70代の方まで総勢約700名の観客が割れんばかりの拍手と喝采で盛り上がりました。この歌声で青年時代を過ごした方々は、その時の情景を思い浮かべることができてとても懐かしく心地よい2時間30分を堪能する事ができたのではないのでしょうか。

3人は、それぞれ歌と同様おしゃべりもお上手で予定を30分オーバーするほど会場と一体となっていました。

教育委員会社会教育課では、今年は特に自主文化事業に力を入れています。9月11日(土)の牧村三枝子ふれあいコンサート、10月9日(土)の一青窈ツアー2010、どちらも必ず満足できるステージになると思います。チケットはまだ多少残っていますので、是非お買い求め下さい。

犯罪に遭わないために



8月2日、(株)大隅衛生曾於事務所で防犯研修会がありました。

この研修会は、曾於市安全安心協会が行ったもので悪質化する振込め詐欺や空き巣ねらい等犯罪被害防止を目的に行われ、出前方式で警察官と協会事務局長が各事業所や施設等を訪問し、犯罪被害の実態や被害防止対策等について、実例を紹介しながら実技訓練等を通じて被害防止を呼びかけるものです。

大隅衛生曾於事務所では80名の職員が参加し、警察官のユーモアたっぷりの話術に微笑みながらも真剣に聞き入っていました。とても勉強になる研修会になったようです。

読者の皆様も地域や学校・PTA、家庭教育学級等の研修会にぜひ取り入れてみてはいかがでしょうか。興味のある方は、曾於警察署内の曾於市安全安心協会事務局までお問い合わせください。

発掘現場を見学



7月15日、市内大隅町大谷の宮ヶ原遺跡の発掘現場を、恒吉小学校5・6年生7名、7月21日大隅南小学校2～6年生12名が見学しました。

宮ヶ原遺跡は東九州自動車道建設に伴い、県立埋蔵文化財センターが発掘調査をしていました。近くには、県指定文化財の投谷八幡宮や市指定文化財の宮ヶ原千人塚があります。

当日は、埋蔵文化財センターの担当職員の説明により近世以降とされる道跡の見学や、作業員の方々の指導を受けながら発掘作業も体験しました。又、当遺跡から出土した縄文時代の土器や石器の解説もありました。

発掘作業体験中には、子供達から「参加して良かった」という声も聞かれました。普段は、教科書や博物館等ではか接することのできない考古学の世界ですが、今回の体験を通して身近なものになったのではないかと思います。

第20回鹿児島県少年少女合唱祭が開催



7月31日、曾於市末吉総合センターで鹿児島県少年少女合唱連盟による、第20回鹿児島県少年少女合唱祭が開催されました。

この大会は、末吉ジュニアコーラスをはじめ、鹿児島市や霧島市などの県内11団体の少年少女合唱団体が組織されており、毎年、加盟市町を巡回して開催しているもので、第20回の記念大会を曾於市で行いました。

それぞれの団体は、当日は、日頃の練習の成果を見事に発揮し、美しいハーモニーが、会場全体に響き渡りました。また、最後に、全団体が合同曲「思い出のメロディー」を歌い、来年の開催地「出水市」へバトンを渡しました。

図書館まつり



7月24日、曾於市立図書館本館（末吉）で図書館まつりが開催されました。

当日は、財部の読み聞かせグループ「はふりこ」のお話やことばあそび、生涯学習講座のキッズダンスなどのほか、新企画としてプロの劇団で活躍していた鈴木史香さんによる「歌の広場」、同じくプロの劇団で活躍していた石栗昌彦さんプロデュースによる、お話し「スイミー」を題材とした演劇で、子供達をおおいに楽しませていました。

図書館では、今後も、たくさんのイベントや本を準備し、もっともっと魅力的な図書館を目指してまいりますので、たくさんの方々のご来場をお待ちいたします。

末吉中央児童クラブ 七夕飾り付け



8月6日、末吉中央児童クラブで、旧暦の七夕の日に合わせて七夕飾りや短冊の飾り付けがありました。

末吉中央児童クラブは、平成14年に開設以来、今年で7年目ですが、今年も地域の方がその日の朝に切り出してくれた竹に、子供達がとっておきの飾りやそれぞれの短冊を思い思いに笑顔で取付けていました。

1年生の清田功琉君は、「飾り付けは大変だったけどとても面白かった。僕はワールドカップに出るようなサッカー選手になれますようにと短冊に書きました。」と元気よく答えてくれました。

主任指導員の山下チミ子さんは、「やんちゃな子供達にへとへとなる事もありますが、子供達の素敵な笑顔で毎日元気を貰っています。」とこちらもまた元気よくおっしゃっていました。